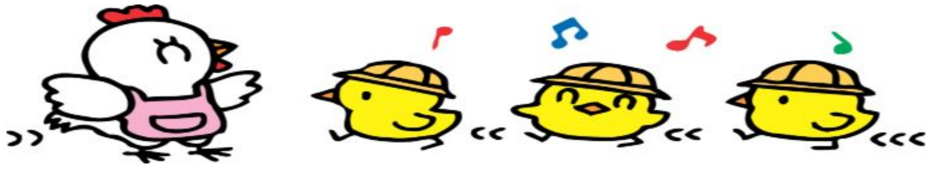進級･入園おめでとうございます。
　今年の春の訪れは、例年より少なかった積雪に加え、ドカ雪に見舞われた本州や道内他都市と異なり、旭川は暖かい日が続いた事と相まって、例年以上のスピードで雪解けが進みました。東京での開花予想が3月24日と出ましたので、桜前線の北上に伴い北海道上陸は函館4月22日、札幌4月24日と続き、旭川は連休入口の4月27日予報が出ております。昨年よりちょっぴり早めのお花見が出来そうですので、ゴールデンウィーク前半は近くの公園でゆっくり花見を楽しむのも良いかもしれませんね。もちろん、「お団子」も忘れずご用意ください。
　暖かい日が続き「良かった！」と思う反面、春先にみられる野火が今年は大規模な山火事となって岩手県大船渡市や愛媛県今治市とほぼ対岸の岡山県で発生しています。乾燥した森林で焚火や野焼きが火種となって枯葉や樹木に燃え移り、火の粉が風に乗って更に更に広がっていったようです。
　あかしあこども園のすみれ組さんが、「幼年消防隊」として最初に取り組む活動は、春の火災予防のチラシ配りと野火を防ぐための堤防や公園での「可燃物処理」です。子どもたちが一様に驚くのは、煙草の吸い殻が山のように捨てられている様子です。火ばさみを使いゴミ袋に入れながら、「なんで、大人なのにこんな所に捨てるのかな」「火事になるってわからないのかな」などと、率直な意見を聞くことが出来ます。
これから屋外で遊んだり、外出する機会も増えて来る事と思いますが、このような時に大人になって恥ずかしい思いをしなくて済むよう、「社会のルール」を子ども達に気付かせてあげて下さい。
「他人様に迷惑をかけない」「自分がされて嫌なことは人にしない」「お天道様は見ているよ」等、日本人特有の周囲の人との調和を大事にしてきた表れとしての言い回しかもしれませんが、子ども自身が何かを決める時、自分の中の「お天道様」に伺うという事自体とても意味のある事だと思います。
　4月に入り、旭川あかしあ認定こども園にも沢山の新入園の子ども達を迎え入れる事が出来、また新たな歩みを子どもたちと共に進めて行きたいと思います。
こども園の中も新年度を迎え、新入園の子ども達は今までのご家庭での生活との違いに、不安や戸惑いを感じることがあると思います。
また、進級の子ども達もクラスのお友達や担任の先生が変わるなど、昨日までとは少し違った感じで過ごしていることと思いますが、私共こども園職員も、子どもたちの気持ちをしっかり受け止め、子ども達にとって楽しい生活の場、学びの場となるよう努めて参りたいと思います。どうか宜しくお願い致します。